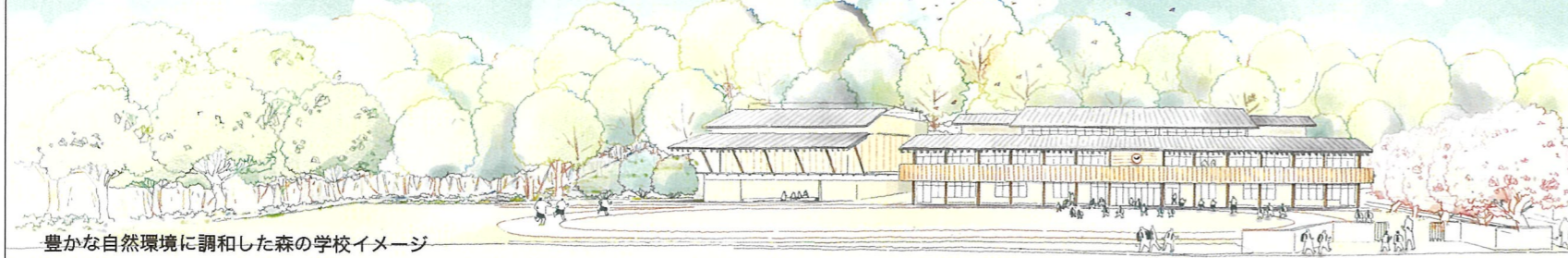
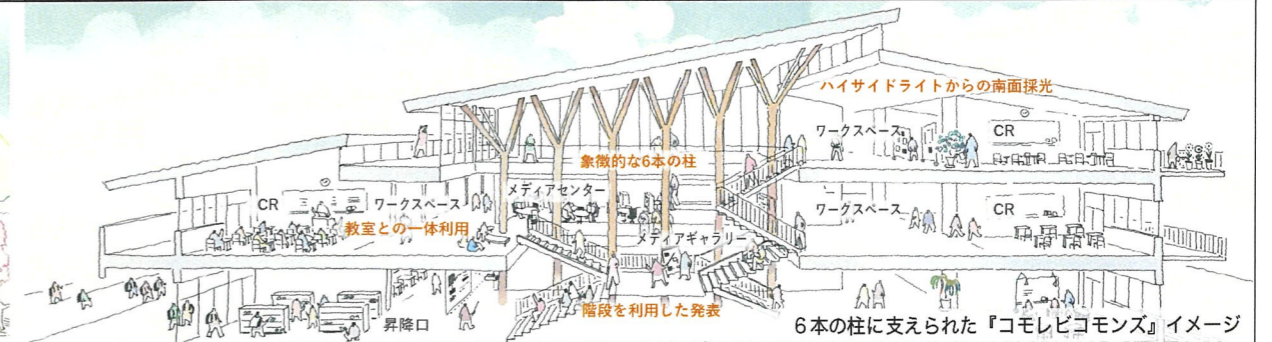


件名	万騎が原小学校建替え工事に伴う設計業務委託	事務所の商号又は名称	梓・金子設計共同企業体
----	-----------------------	------------	-------------

木漏れ日と爽やかな風の中で、健やかな子どもを育てる『森の学校』



豊かな自然環境に調和した森の学校イメージ



6本の柱に支えられた『コモレビコモンズ』イメージ

豊かな自然環境を活かした明るく快適な「森の学校」を低コストで実現

提案項目(1)

- 『結びのみち』を軸とした配置計画により安全性と利便性を向上。(ア)
- 敷地南西に校舎棟、南東に体育館・給食室棟を配置し、2棟の間に『結びのみち』を設けます。これにより、南門からの安全な登下校も可能です。
- 『結びのみち』は、体育館や放課後キッズ広場、地域諸室が面し、日常的に学校と地域、屋内と屋外を結ぶ活動空間とします。また災害時には、グラウンドや体育館、給食室と一体的な利用も可能です。

近隣住宅地への配慮と明るく快適な屋外活動空間の両立。(ア)

- 高さ規制の緩和が可能な場合は、プールは体育館屋上に配置します。これにより西側住宅地への騒音の影響を抑えると共に、近隣からのプールへの視線に配慮します。また広く整形なグラウンドとプールへの日照を確保します。
- 校舎棟は北側を2層に抑え、グラウンドへの日照を確保します。

屋内外の多様な学習空間と連携可能な普通教室。(ア)

- 校舎は屋内外の多様な学習空間を中心に南北に諸室が並ぶ構成とし、1階に管理諸室、2・3階に普通教室や特別教室を配置します。2階の北側教室にはハイサイドライトを設け、南面採光を確保します。
- 普通教室は学年のまとまりを確保すると共に2学年連携も容易な配置とします。

『学び』と『交流』の核『コモレビコモンズ』。(ア)

- 校舎中央には、学年の数と同じ6本の象徴的な柱で支えられた吹抜け空間『コモレビコモンズ』を設けます。吹抜けを利用した自然換気・自然採光により校舎全体に心地よい風と光を届け、快適な学習環境を実現します。
- 『コモレビコモンズ』は、日常動線となる大階段を中心に、メディアセンターや特別教室、メディアギャラリーで構成し、日常的な学習・交流・発表の場とすると共に、異学年が交流できる賑わいある場とします。

屋内と連続した屋外学習空間『コモレビテラス』。(ア)

- 『コモレビテラス』は、普通教室前のワークスペース(WS)や特別教室が顔を出し、ランチや読書、工作、合唱、観察、発表・展示等、屋内と連続した多様な学習活動に対応する屋外テラスとします。

一般流通材の活用や躯体数量削減により低コストな木造校舎を実現。(イ)

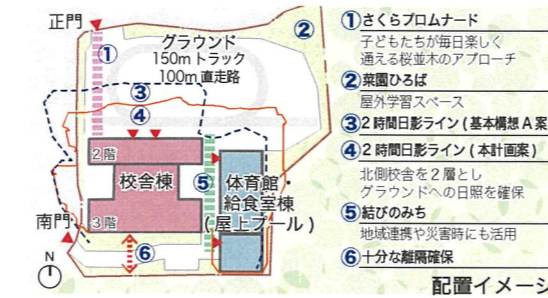
- 教室モジュールの8mグリッドの架構は、一般流通材(L=6m)を組み合わせた工法とします。また一般流通材の調達および木造躯体の接合部加工は木造住宅用プレカット工場で行える工法とし、流通・加工コストや工期を大幅に削減します。
- 意匠上重要な部分は燃え代設計により木構造現しの空間とする一方、間仕切壁等は被覆型とすることで木造躯体量を削減します。

平面計画と合致した合理的な防耐火計画によるオール木造校舎。(ウ)

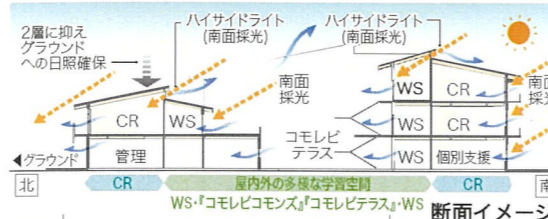
- 校舎は木造の「壁等」で区画したオール木造1時間準耐火建築物とします。「壁等」は、平面計画と合致したコストメリットの高い「壁タイプ」を採用します。
- トイレ等のコア部分にバランスよく耐震壁を配置することで、教室まわりを開放的に柔軟性のある空間とします。

木質空間に調和した設備計画。(エ)

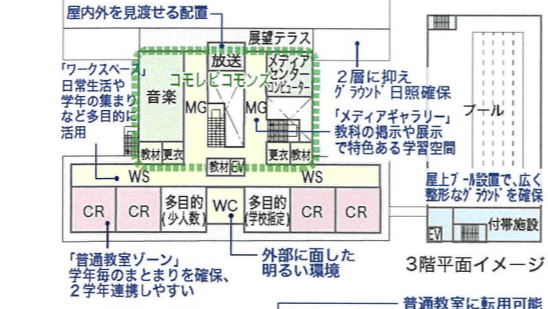
- 木材の反射率を考慮した内装・照明計画、仕上や家具に組み込んだ照明器具や空調機器等、維持管理や快適性に配慮しながら木質空間に合致した設備計画を行います。



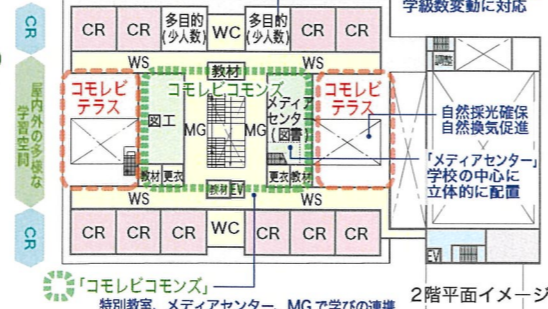
配置イメージ



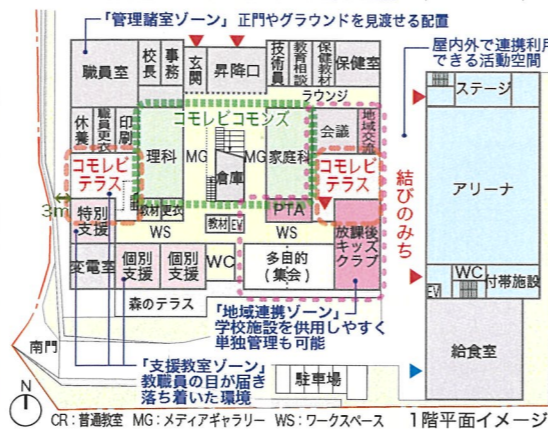
断面イメージ



3階平面イメージ



2階平面イメージ



1階平面イメージ

木の魅力が持続する長寿命な学び舎

提案項目(2)

木そのものの風合いを活かす工法の採用。(ア)

- 大梁や独立柱、屋根組など意匠上重要な部分は木構造現しの温かみある空間を実現します。
- 木部の塗装は、水分の吸放出性を阻害せず木の風合いを活かした浸透系の自然塗料とします。
- 内外仕上材には、積極的に神奈川県産木材を活用し郷土愛を育みます。



コモレビコモンズイメージ

補修や更新に配慮した計画(維持保全計画)。(イ)

- 仕上材や下地材は、部材を適度に分割し、劣化・破損部を部分的に更新できる仕様とします。
- 外装塗装の塗替えやメンテナンス、外壁保護に配慮し、建物外周にはバルコニーを設置します。

安全性と学校運営に配慮した合理的な工事計画

明快に区分した工事エリアにより学校の安全性を確保。(ア)

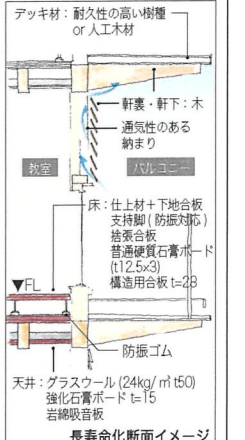
- 工事エリアと学校運用エリアを明快に区分し安全性を確保します。『結びのみち』はSTEP④・⑤において、南門から昇降口への安全な通学動線として機能します。

グラウンドやプールを含め全ての施設を継続利用可能。(イ)

- 工事中も絶えず屋外運動スペースを確保できる計画とします。またプールは体育館棟屋上に整備し、既存プール解体前に運用開始が可能な計画とします。

木特有の経年劣化・変化に配慮した計画(長寿命化)。(イ)

- 構造材は屋外に露出させず、防水、通気、換気を徹底した納まりとすると共に、土台は腐りにくい材料とした上で、腐朽・蟻害対策を徹底します。
- 外装は耐久性の高い樹種とすると共に、軒下外壁や軒裏等、紫外線や風雨の影響が及ぶ部分に採用し、木材保護塗料を塗布します。またデッキ材は耐久性の高い樹種の他、人工木材等も検討します。
- 仕上材は、乾燥収縮、干割れ、ねじれ・反りなどに配慮した納まりとします。
- 乾式二重床+石膏ボード3重張の床、天井や床の壁際納まり等、音や振動が伝達しない納まり・工法を採用します。



長寿命化断面イメージ

早期の検討と万全な体制で確実な木材供給を実現

提案項目(4)

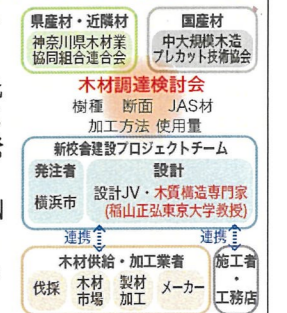
適切な部材・樹種設定と効率的な数量の把握。(ア)

- 構造性能、耐久性能、コストを総合的に勘案して、適材適所の樹種選定を行います。
- 数量は初期段階は参考事例より想定し、その後BIMを用いて部材・断面ごとの数量を確実かつ効率的に把握します。
- 高価な県産材は使用箇所を限定、その他の材は全国から調達し低コストで確実な調達を実現します。

構造部材	産地	部位	樹種等	推定数量(概算値)
構造材(AS材)	現し部(総床)	柱	杉集成材、楠製材等	1300 m ³
	被覆内	柱	杉、マツ集成材等	
	土台	柱	杉、マツ等	
内外装材	内装	床・壁	杉、楠	100 m ³
	外装	杉下見板張り	杉、楠	

木構造専門家や木材供給業者を迎えた木材調達検討会。(イ)

- 木質構造のエキスパートである専門家をチームに迎え万全な体制を構築します。
- 木材調達検討会を実施し、最適な調達先や納期・コスト等について検討、設計にフィードバックすることでスムーズな発注・加工・納品を可能とします。
- 中大規模木造プレカット技術協会、JBN 全国工務店協会等、関東圏内の製材、加工、施工業者と密接な連携が図れる体制を構築します。

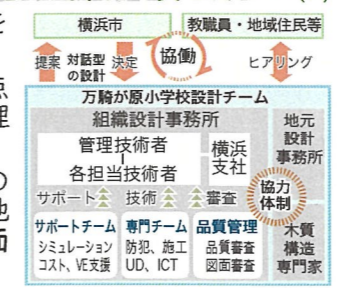


豊富な実績と綿密なコミュニケーションで高品質な設計を実現

提案項目(5)

十分な検討と徹底した品質管理で成果品の質を向上。(ア)

- 組織の総合力と地元の地の利を結集した万全な体制とします。
- 設計初期よりヒアリングを重点的に行い、課題と要求を整理し確実に設計に反映します。
- 社内品質管理チームが建物の安全性、経済性、機能性の他要望事項への対応状況や図面の整合性を検証します。



工事費の早期把握、有事の際の業務継続計画により工程を管理。(イ)

- 基本計画段階から概算工事費を算出します。構造や設備、木材使用量などコストや工期に大きく影響する項目を早期に洗い出し、手戻りのない確実な設計を行います。
- 有事の際も、Web会議や各種情報共有手法の活用により、コミュニケーションを図りながら滞りなく業務を継続します。
- 工事段階では監理担当と共に設計者が意図伝達を行います。
- BIMの活用やワークショップによる対話型設計。(ウ)
- 模型やBIM等わかりやすい手法で情報共有を図ります。またワークショップ等、地域や学校関係者との合意形成手法を提案します。